

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	乳幼児保育Ⅰ	
科目基礎情報					
開設学科	こども学科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	石川素子		実務経験の有無・職種	有・保育士	
学習目的					
乳幼児期は、人格の基礎が形成される大切な時期である。この時期に子どもと関わる保育者は、個々の発達に合わせた一人一人の健やかな育ちを保障できるようにならなければならない。乳幼児保育を学ぶことで保育者のスキルとして必要な、受容的で応答的なかわりを理解し、援助の仕方を習得することが目的となる。また、乳幼児保育の現状と課題を理解し、具体的な事例、玩具に触れながら発表・グループ討議を通して保育内容と場面における保育者の役割について学ぶこともねらいとなる。					
到達目標					
乳幼児保育の現状を知り、その意義及び課題を理解し、保育者として乳幼児保育の意義と課題に向かう姿勢を身につけること、乳幼児の発達と玩具の関係性を理解し、保育の専門家として、玩具を選び提供できるようになること、乳幼児の発達や発達過程を知り、子どもの主体性、人権を尊重した保育観や保育内容を説明できること、様々な事例を調べることを通して、乳幼児保育の保育者として必要な援助の仕方、必要な道具の使用方法を習得していくことを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	映像や事例、玩具に触れながら個人ワークやグループワークをとりいれる。他人の意見をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。発表者・司会を交替でする中で、話題をまとめていく力もつけていく。この授業に主体的に参加する学生が、自分のあるべき保育者像を自分自身の言葉で語り、子どもの健やかな発達の援助ができるようになることを目指す。				
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。保育者の役割の一つに"子どもの模範となる"ことがあることから、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷		乳幼児保育の意義・目的について理解する		
2回	乳児保育および子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題		保育をめぐる制度や社会的な背景について理解する		
3回	保育所における乳児保育		乳児保育の現状を理解する		
4回	保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育		乳児院についての理解を深める		
5回	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育		家庭的保育・小規模保育の役割について理解する		
6回	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場		子育て支援の実態を理解し、地域の子育て支援について調べる		
7回	3歳未満児の生活と環境		乳児保育における環境を理解し実際に環境構成を行う		
8回	3歳未満児の遊びと環境		0歳児の遊びと環境、1歳児以降の遊びと環境について理解する		
9回	3歳以上児の保育に移行する時期の保育		各年齢の移行についてその実態を理解する		
10回	3歳未満児の発育・発達をふまえた保育者による援助やかかわり		各年齢の発達過程と保育者の援助法について理解する		
11回	3歳未満児の発育・発達をふまえた保育における配慮		乳児保育において特に配慮すべきことを理解する		
12回	乳児保育の計画・記録・評価とその意義		保育の計画と実際を理解し、計画を作成する		
13回	職員間の連携・協働		チームですすめる保育について理解する		
14回	保護者との連携・協働		子育て支援の必要性と保育者の役割について理解する		
15回	自治体や地域の関係機関等との連携・協働		保育所における関係機関との連携について理解する		